

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	心理学		学年	1 年 52 期生	
担当者			期別	後期	
単位数	2 単位		講義・実習	講義	
時間数・授業回数	4 時間× 8 回		専任・兼任	兼任	
実務経験	臨床心理士・看護師の経験を有する教員が、心理学・カウンセリングに関する授業を担当する				
一般目標 (GIO)					
<p>心理学の各領域の代表的な理論と知見を紹介し、また日常生活の身近な題材を活用して、人間行動の仕組みに関する認識を深めながら心理学の基礎を習得する。</p> <p>人はどのようなことを考え、どのような行動をするのか、心理学の基礎的な理論を教科書や資料を用いて解説する。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	9	6	3	「見る・聞く・感じるこころ」「学ぶ・覚えるこころ」	知覚についての基礎知識・特徴について理解する
2	9	6	4	〃	学習・記憶についての基礎知識・病理について理解する
3	9	13	3	「やる気の心理」「喜怒哀楽のこころ」	動機付け・欲求について概念・特徴を理解する
4	9	13	4	〃	感情・ストレスについて理解する
5	9	20	3	「その人らしさの心理」「かしこさの心理」	パーソナリティの特徴・障害について理解する
6	9	20	4	〃	知能の基礎知識、障害について理解する
7	9	27	3	「考えるこころ」「発達するこころ(1)」	考える・問題解決法について理解する
8	9	27	4	〃	発達の基礎知識について理解する
9	10	4	3	「発達するこころ(2)」「人と関わる心理」	発達・生涯の発達について理解する
10	10	4	4	〃	人間関係について学ぶ
11	10	11	3	「人と集うこころ」「健康なこころ」	集団・リーダーシップについて理解する
12	10	11	4	〃	メンタルヘルスについて学ぶ
13	10	18	3	「カウンセリングのこころ」「思いを伝えあうこころ」	カウンセリングのマインドについて理解する
14	10	18	4	〃	コミュニケーションスキルを高める
15	10	25	3	「心理学の歩みと研究法」まとめ	心理学とは何か・その歴史について理解する
16	10	25	4	「心理学の歩みと研究法」まとめ	心理学研究法について理解する
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	80%		医歯薬出版 心理学		
平常授業態度	20%				
	%				

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	生物	学年	1 年 52 期生
担当者		期別	前期
単位数	2 単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2 時間× 15 回	専任・兼任	兼任
実務経験	東京大学大学院農学生命科学研究科及びミツカングループ本社中央研究所にて研究に従事		

一般目標(GIO)

歯科衛生士をはじめ医療に携わる者は、生命科学の知識なくして、人体の体の成り立ち、仕組、働きなどを理解できません。そこで、基本的な「生物学」を学び、その上で歯科医学のベースとなる化学・生化学や生理学・解剖学・等々の学びへと自然に移行できるよう、基礎知識の理解・定着をめざします。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	11	1	ガイダンス	中学・高校の知識をふりかえり、新たな学びにつなげる。
2		18	1	I編 生命①	地球上の生命の誕生について理解している。
3		25	1	I編 生命②	生命誕生以来の生物の進化について理解している。
4	5	9	1	I編 生命③	現生生物や自然環境について理解している。
5		16	1	II編 組織と細胞①	生命をつくる細胞の成り立ちと活動について理解している。
6		23	1	II編 組織と細胞②	細胞の合目的的な集合体が組織・器官・個体であることを理解している。
7		30	1	II編 組織と細胞③	細胞～器官間の情報伝達の仕組みを理解している。
8	6	6	1	III編 生命の連続①	生命が連続する仕組みについて理解している。
9		13	1	III編 生命の連続②	遺伝子の本体DNAやRNAについて理解している。
10		20	1	III編 生命の連続③	遺伝情報がアミノ酸配列へと具現化する仕組みを理解している。
11		27	1	IV編 環境と動物の反応①	環境変化に適応して動植物が生活する仕組みを理解している。
12	7	4	1	IV編 環境と動物の反応②	
13		9	2	IV編 環境と動物の反応③	
14		11	1	確認テスト・解説	未定着事項をふりかえり、学びなおすべきことを把握する。
15		18	1	総復習	生物学の重要概念をしっかりと理解できている。
評価基準				教科書	参考書
筆記試験	100%	医歯薬出版 生物学			
平常点	%				
	%				
	%				

1限目(9:00～10:30)

2限目(10:40～12:10)

3限目(13:00～14:30)

4限目(14:40～16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	化学	学年	1 年 52 期生
担当者		期別	後期
単位数	2 単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	4時間 ×7回・2時間 ×1回	専任・兼任	兼任
実務経験	東京大学大学院農学生命科学及びミツカングループ本社中央研究所にて研究に従事		

一般目標(GIO)

歯科衛生士にとって、歯の構成成分であるヒドロキシアパタイトや各種補綴材の成分等の理解は欠かせません。さら
フッ素歯面塗布にあたり、フッ化物濃度計算が正確にできる必要があります。そうした観点から、さまざまな物質の「原
特徴、物質間の相互反応について理解を深め、関連科目の学習に容易に移行できるようになることをめざします。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	10	1	2	ガイダンス	中学・高校の学びをふりかえり、新たな学びへの準備ができる。
2		8	1	1章 物質とは何だろう①	「物質」の諸相について理解する。
3		8	2	1章 物質とは何だろう②	元素の周期表を理解し、重要元素の特徴を覚える。
4		15	1	2章 気体について知ろう①	気体の温度—圧力関係や溶解度を理解する。
5		15	2	2章 気体について知ろう②	各種気体が環境問題や医療とどう関連するか理解する。
6		22	1	3章 物質が水に溶けるとは①	濃度計算を正確にできるようになる。
7		22	2	3章 物質が水に溶けるとは②	酸・塩基について理解する。
8		29	1	4章 酸化とは、還元とは①	酸化・還元反応について理解する。
9		29	2	4章 酸化とは、還元とは②	各種金属の特性を把握できる。
10	11	5	1	5章 化学反応では原子の組換えが起こっている①	化学反応式を理解する。
11		5	2	5章 化学反応では原子の組換えが起こっている②	化学平衡について把握し、酸素分圧等を説明できる。
12		12	1	6章 有機化合物とは何だろう①	有機化合物の基礎を把握する。
13		12	2	6章 有機化合物とは何だろう②	いくつかの有機化合物について、具体的特徴等を理解する。
14		19	1	7章 ヒトをつくっているものは何だろう①	人体を構成する水分・糖質について理解する。
15		19	2	7章 ヒトをつくっているものは何だろう②	人体を構成する脂質・タンパク質について理解する。
評価基準				教科書	参考書
筆記試験			100%	医歯薬出版 化学	
平常点			%		
			%		
			%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科英語		学年	1 年 52 期生	
担当者			期 別	後期	
単 位 数	2 単 位		講義・実習	講義	
時間数・授業回数	2 時間× 15 回		専任・兼任	兼任	
実務経験	本校での27年間の指導				
一般目標(GIO)					
歯科衛生士として患者への会話力を身につける。 専門用語を英語で理解し、書ける。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	10	8	3	自己紹介、テキスト8～10	ロールプレイによりアイコンタクトをしながら自己紹介ができる。重要表現を声に出して言い、理解する。
2		15	3	リスニング&ディクテーション テキスト26～29/重要表現	重要表現を書き、理解する。声に出して言い、内容を理解する。
3		29	3	リスニング&ディクテーション テキスト28～33/重要表現	重要表現を書き、理解する。声に出して言い、内容を理解する。
4	11	12	3	リスニング&ディクテーション テキスト31～36/重要表現	重要表現を書き、理解し読める。声に出して言い、内容を理解する。
5		19	3	リスニング&ディクテーション テキスト36～41/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
6	12	3	3	リスニング&ディクテーション テキスト42～45/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。専門用語を理解する。
7	1	14	3	リスニング&ディクテーション テキスト46～56/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
8		15	1	リスニング&ディクテーション テキスト56～63/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
9		20	2	リスニング&ディクテーション テキスト63～67/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
10		21	3	リスニング&ディクテーション テキスト67～74/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
11		22	1	リスニング&ディクテーション テキスト78～92/重要表現	重要表現を聞いて書き取り、理解する。声に出して読み、内容を理解する。
12		27	2	グループワーク 重要表現のまとめ	これまでのディクテーションの中からグループで英文をホワイトボードに書き、チェックシートを作成する。
13		28	3	リスニング&ディクテーション まとめ	チェックシートのインプット。声に出して言える。
14	2	3	2	重要表現テスト、ディクテーションチェック	重要表現を暗記して言える。
15		4	3	重要表現テスト、ディクテーションチェック	重要表現を暗記して言える。
評価基準			教科書		参考書
筆記試験		%	医学情報社 歯科用英語ハンドブック即戦力トレーニング		歯科医院での実用英会話
平常点		%			
		%			
		%			

1限目(9:00～10:30)

2限目(10:40～12:10)

3限目(13:00～14:30)

4限目(14:40～16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	コミュニケーション論	学年	1 年 52 期生
担当者		期別	前期
単位数	1 単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2時間 ×1回・4時間 ×4回	専任・兼任	兼任
実務経験	電機、航空会社、商社勤務経験を有する教員がコミュニケーションスキルの授業を担当する		

一般目標(GIO)

現代社会コミュニケーション学を根拠や理論に基づき他者との関わりを修得するために必要な要素である目的や手段を知り双方通行の基礎知識を身に付ける。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	15	3	序章:現代、社会コミュニケーションとは 人との関わり方	コミュニケーションの在り方を述べる
2		22	1	1章:コミュニケーションの印象力、外見、表情の意味	人との関係性をきずく伝達経路について説明する
3		22	2	〃	言葉を媒介としない非言語の意味を説明する
4	6	17	1	2章:コミュニケーションの話す力、明確な話し方	声の大きさ、発音、発声挨拶用語を使用する
5		17	2	〃	自己主張の重要性と主張の仕方について述べる
6		24	3	3章:コミュニケーションの態度力、基本動作、所作	自分を生かす、相手を生かす基本動作を比較する
7		24	4	〃	聴く力、かかわる力の視点について説明できる
8	7	1	1	4章:コミュニケーションの会話力、敬語、医療用語	敬語を使う対象と使い方の原則について述べる
9		1	2	〃	医療用語の構成を理解し列記する
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価基準				教科書	参考書
筆記試験	40%				シート:使用 プリント:使用
レポート等	10%				
小テスト	30%				
平常点	20%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)